

授業科目名・形態	公衆衛生看護技術論 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名		実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

地域で生活する対象者が自らの意思で健康問題に気づき、健康問題の解決に向けた適切な方法を選択し、行動変容できるように支援する必要性を理解する。また、対象者が主体的に自らの健康問題を把握し、予防的な対処方法、または問題解決方法を選択できるように働きかける接近技法や技術の基礎を学ぶ。

【到達目標】

1. 対象者の健康問題解決に向けた保健指導の方法・技術を理解できる。
2. 家庭訪問の一連の過程（情報収集、アセスメント、実施、評価）を理解し、実践できる。
3. 健康教育・健康学習の計画を立案し、実践できる。

【授業計画・内容】

第1回	保健指導	保健指導の意義、目的・対象・特徴・方法
第2回	健康相談	健康相談の目的・対象・特性
第3回	健康相談	健康相談の相談技術
第4回	家庭訪問	家庭訪問の目的・対象・技術
第5回	家庭訪問	家庭訪問のプロセス
第6回	家庭訪問	家庭訪問の実際（訪問計画立案）
第7回	家庭訪問	家庭訪問の実際（演習1）
第8回	家庭訪問	家庭訪問の実際（演習2）
第9回	健康教育・健康学習	実態把握、健診結果に基づいた健康教育・健康学習
第10回	健康教育・健康学習の実際	計画立案（企画書・指導案の作成）
第11回	健康教育・健康学習の実際	計画立案（企画書・指導案の修正）
第12回	健康教育・健康学習の実際	計画立案（企画書・指導案の修正、媒体の作成）
第13回	健康教育・健康学習の実際	実施準備（媒体等の完成、デモンストレーション）
第14回	健康教育・健康学習の実際	グループ発表
第15回	健康教育・健康学習の実際	グループ発表、まとめ

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨み、講義後は学修内容を復習する。

【主な関連する科目】

「健康教育論」「母子保健活動論」「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」などの公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

公衆衛生看護学. jp 第4版 データ更新版, インターメディカル, 2019.

【参考文献】

- 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術, 医学書院, 2020.
 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動, 医学書院, 2018.
 最新保健学講座2 公衆衛生看護支援技術, メヂカルフレンド社, 2020.
 国民衛生の動向 2020/2021年版, 厚生統計協会, 2020.
 最新公衆衛生看護学 第3版 総論, 日本看護協会出版会, 2020.

【成績評価方法】

受講態度等（5%）、演習内容・提出課題（45%）、定期試験の成績（50%）による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

都道府県保健所で保健師として、地域保健活動を経験
 保健師としての実務経験から公衆衛生活動および公衆衛生看護活動（保健師活動）について、知識や技術を授業を通して伝えたいと考えています。

【学生へのメッセージ】

個人・家族・集団に対して、保健師が直接働きかけて提供する対人援助技術（保健指導）の基本を理解し、「地域で看護する」時に必要な知識や技術を確実に身につけるよう復習しましょう。